

INFORMATION

■開館時間

9:00 - 17:00 (入館は16:30まで)

「美術の夕べ」実施日と夜間開館日は19:00まで(入館は18:30まで)

※ホール利用は9:00-21:00

■休館日

月曜日(休日の場合その翌日)／年末年始／展示替え期間中

■観覧料

岡山の美術展 観覧料

	個人	団体(団体20名以上)
一般	360円	290円
大学生	260円	210円
小・中・高生	無料	無料
65歳以上の方	170円	140円

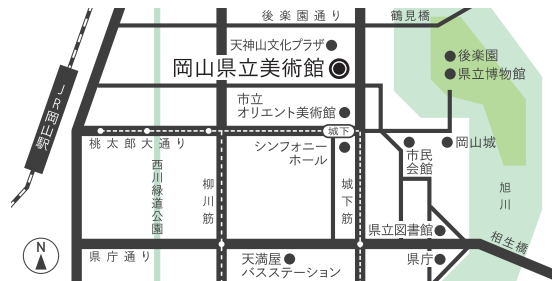
※次の方は岡山の美術展 観覧料が免除されます。

- ・もっこカードをお持ちの方(土日祝のみ)
- ・障害者手帳等をお持ちの方(介護者1名を含む)
- ・県内の学校に在学する外国人留学生等(学生証等が必要です)

特別展・企画展 観覧料

その都度、別に定めます。

■交通のご案内



[JR岡山駅東口から]

- ・徒歩約15分
- ・路面電車: 東山行「城下」下車徒歩約3分
- ・宇野バス: 四御神行または瀬戸駅行「表町入口」下車徒歩約3分
- ・岡電バス: 藤原団地行「天神町」下車すぐ
- ・循環バスめぐりん: 岡山駅前(ドレミの街前)バス停10番乗り場、県庁・京橋線(Cルート)「表町入口」下車徒歩3分

岡山県立美術館

〒700-0814 岡山市北区天神町8-48

TEL:086-225-4800 FAX:086-224-0648

E-mail:kenbi@pref.okayama.lg.jp

<http://www.pref.okayama.jp/seikatsu/kenbi/index.html>



岡山県立美術館
OKAYAMA PREFECTURAL MUSEUM OF ART

COLLECTION

当館では「岡山県ゆかり」をキーワードにすぐれた作品を数多くコレクションしています。これらを紹介する「岡山の美術」展では、古書画・日本画は毎月、洋画・工芸は3ヵ月ごとに展示作品を入れ替えています。また、特別陳列やテーマ展も開催していますので、さまざまな時代・ジャンルの作品をお楽しみいただけます。

主な収蔵品

古書画・日本画

- 玉潤 《廬山図》(重要文化財) [1]
牧谿 《老子図》(平成25年新指定重要文化財) [2]
雪舟等楊 《山水図(倣玉潤)》(重要文化財) [3]
宮本武蔵 《布袋竹雀枯木翡翠図》のうち《枯木翡翠図》[4]
浦上玉堂 《山澗読易図》
岡本豊彦 《林和靖図》
小野竹喬 《夕茜》[5]
池田遙邨 《雪へ雪ふるしづけさにをる山頭火》
寂室元光 《墨蹟(拾得詩)》
大愚良寛 《詩書屏風》

洋画

- 坂田一男 《キュビズム的人物像》[6]
原田直次郎 《風景》
原 撫松 《老人像》
満谷国四郎 《瀬戸内海風景》
鹿子木孟郎 《浴女》
松岡 寿 《ピエトロ・ミカの服装の男》[7]
国吉康雄 《夜明けが来る》[8]
中山 巍 《縞のエプロン》
有元利夫 《会話》

工芸

- 金重陶陽 《備前三角播座花入》[9]
小山富士夫 《青白磁大壺》
大野昭和齋 《桑造線象嵌箱》

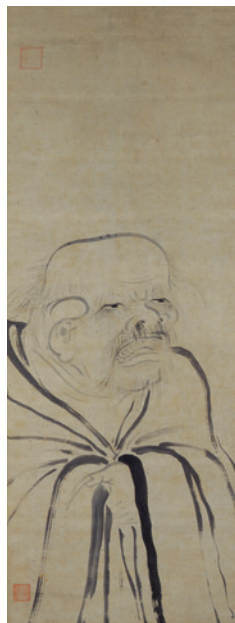
彫刻

- 平柳田中 《五浦釣人》[10]

ホームページにてその他収蔵品の検索・閲覧ができます。



1



2



4



3



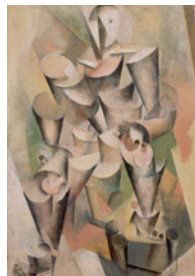
9



5



10



6



7



8

EVENT

美術について、より理解を深めるためのイベントを開催しています。下記にご紹介しているもの以外にも、作家によるトークや、外部講師による講演会等の様々な企画を行っています。

詳しくは美術館受付やウェブサイト、展覧会チラシ等にてご確認くださいか、お気軽にお問い合わせ下さい。

美術館講座

当館学芸員による講座をほぼ毎月開催しています。

聴講無料、約90分

美術の夕べ

毎月第4金曜日 18:00-19:00

開館時間を19:00まで延長する《夜間開館日》に、開催中の特別展や岡山の美術について、当館学芸員が作品を前にお話しします。

事前申込不要、要観覧券

ワークショップ(体験型講座)

美術館に親しみ、作品や美術に対する理解が深まるよう、さまざまな体験型プログラムを開催しています。

ボランティアによるギャラリートーク

土・日・祝日の①11:00- / ②13:00-

「岡山の美術」展について、当館ボランティアが作品を観覧しながらご案内します。

事前申込不要、約30分-60分

対話型鑑賞体験ツアー

毎月第3日曜日 14:00-

ナビゲートスタッフと一緒に、おしゃべりしながら楽しく、作品をみて鑑賞するツアーです。

事前申込不要、約50分

学校関係、または団体観覧をご希望のお客様へ

県立美術館では、団体観覧のためのプログラムも用意しています。事前のご連絡が必要になりますので、詳細はウェブサイトにてご確認くださいか、お問い合わせください。

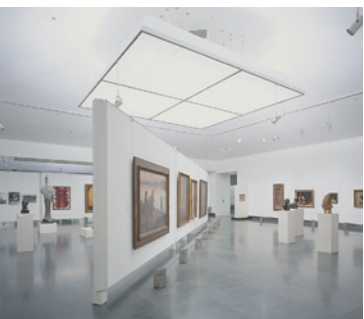
郷土に親しみ 美を慈しむ

岡山県立美術館は、郷土にゆかりあるすぐれた美術作品を収集・展示するとともに、内外の芸術活動を紹介する展覧会やワークショップを開催しています。《創る、学ぶ、集う、守る、繋ぐ》広場として、地域の芸術文化の発展に貢献していく「県民とともに創る美術館」です。

沿革

- 昭和55年 天神山地域利用構想懇親会開催
岡山県天神山文化施設整備基金設置
- 昭和60年 県立美術館開設準備事務局設置
- 昭和62年 岡山県立美術館竣工
- 昭和63年 岡山県立美術館開館
- 平成8年 重要文化財の公開承認施設(文化庁長官承認)





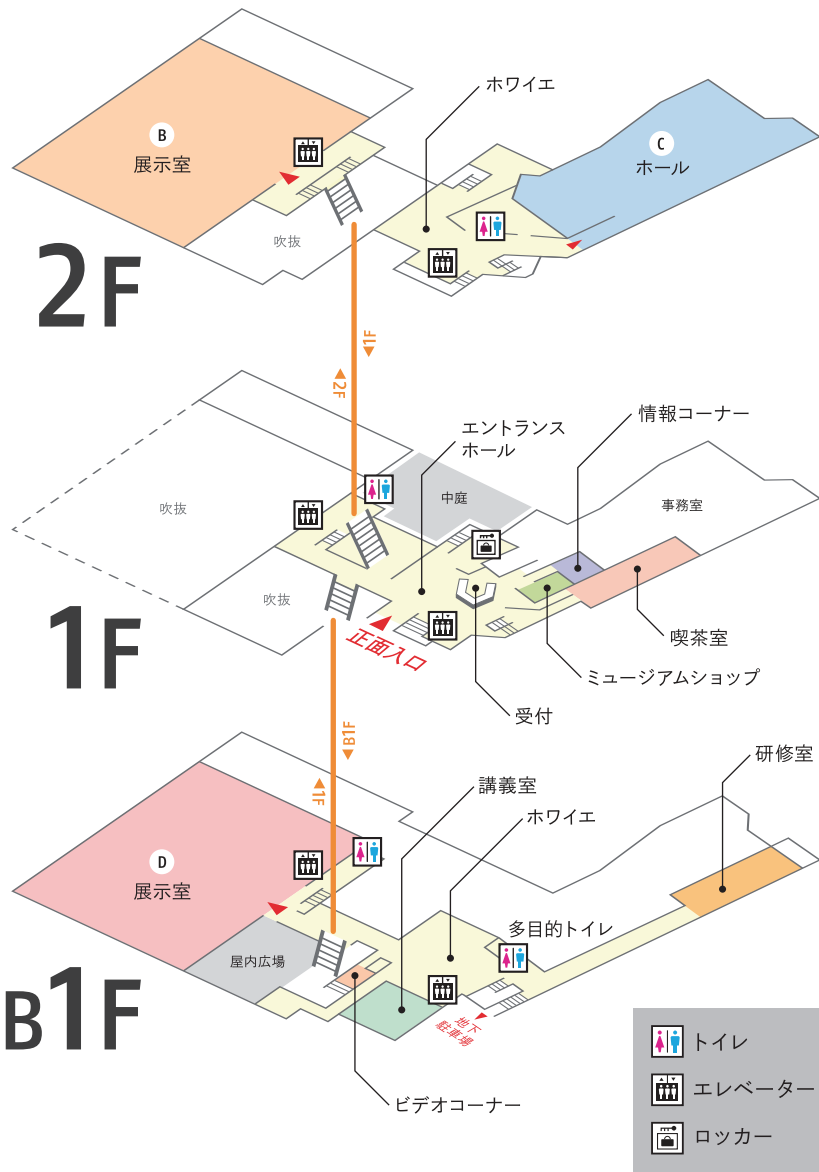
A

B

C

D

FLOOR MAP



建物の概要

A: 外観

B: 2階展示室

C: ホール

D: 地下1階展示室

[設計] (株)岡田新一設計事務所

[構造] 鉄筋コンクリート造り

地上3階 地下2階

[敷地面積] 6,212㎡

[建築面積] 3,721㎡

[延床面積] 14,269㎡

[展示部門] 3,501㎡

[ホール部門] 1,358㎡ (212席)

[地下駐車場] 2,061㎡ (45台収容)